

# 感謝のことば

ガバナー 伊瀬 芳吉



輝かしい歴史と伝統のある当第266地区のガバナーとして、みなさんへ最後の月信をお届けする時機が参りました。みなさんには、ご多用の中、長い間ご高覧を賜り、衷心厚く御礼申し上げます。

さて、去る4月4、5の両日、池田市民文化会館において、ホスト池田R.C.および、コ・ホスト豊中、箕面、豊中南、豊中北各R.C.のご配慮のもと開催された地区年次大会は、ロータリー創立75周年の記念大会として、特にプログラムにもその趣旨を織込むなどの工夫がなされ、誠に有意義で、しかも盛大に行われ成功裡に幕を閉じることができました。これ偏えに全ロータリアンのご協力とご奉仕のたまものと衷心御礼を申し上げますとともに、この一年間、みなさんから陰になり日向になりご支援・ご厚情を賜り、深く感謝申し上げます次第であります。

顧みますと、私は1977年秋、塚本、藤沢両P.G.から初めてお話があって、その11月に地区ガバナー指名委員会でガバナー・ノミネー候補者として推薦を受け、翌78年1月に地区ガバナーによってノミネーとして宣言され、3月の地区大会において正式にガバナー・ノミネーに選出されました。ところがノミネー事務所開設の直後、不覚にも病氣静養を余儀なくされるハプニングでみなさんに多大なご心配をおかけいたしました。幸いにも5月のアメリカ南部ボカ・ラトーンでの国際協議会には参加することができ、ガバナーとして、

いかにしてその重責に応えるかについての手段と精神が与えられました。その後、ローマ国際大会で次期ガバナーに選出され、昨年7月1日に当266地区ガバナーに正式就任いたしました。

地区ガバナーに課せられた任務には、R.I.に対する定期的諸報告、地区内89R.C.への公式訪問、並びに計10組のI.G.F.実施等の相当過密な日程を順次消化する傍ら、定期的に発行すべき14回のガバナー月信への掲載原稿の執筆、2回の合同地区委員会、I.A.C.及びR.A.C.の地区年次大会、数回に亘るガバナー連絡会議、ロータリーの友合同会議、米山記念奨学会評議員会議、東京及び福岡でのロータリー研究会等々への出席は当然のことながら、さらに地区最大の行事である年次大会及び地区協議会を主宰するほか、シカゴ国際大会に出席するなど、時間的制約ならびに肉体的・精神的重荷は、当初に予想し、覚悟していた以上のものでありました。しかも私自身の思考力と行動力の限界を超える重い責務ではありましたが、幸いにして大過なく、しかも健康を保持しながら、正に任務を終えんとする今日まで続けることができましたことは、吾ながら不思議な気がしてなりません。この終生忘れることのできない貴重な体験と奉仕を継続させた力は何であったのだろうかと思返ってみるに、私が本ロータリー年度の当初において、ジェームスL.ボーマー、Jr.R.I.会長が提唱された「奉仕の灯で道を照らそう」のテーマに対して、私なりのやり方で少しでもお役に立ちたいものと胸中深く秘めて、努力・精進してきたことも一つの要因とも思いますが、何よりも先ず、地区内89R.C.の5,600名近い全ロータリーのみなさんから陰に陽に

お寄せいただきました温かいご支援、友愛のご交誼に基づく結果に外ならないと唯々感謝の念で一杯であります。

地区ガバナーとしての重い責務の反面、私はこの一年間、地区内ロータリアンのみなさん一人ひとりと直接お目にかかって親しくご挨拶を交し、フェローロータリアンとしてのご友情、ご好誼を賜り得ましたが、これもガバナーにのみ与えられる恩典かと考え、ガバナーとは何とやりがいのある、しかも楽しみの多い役職であるものかと、つくづく身の果報と幸運に感謝している次第であります。

さて、退任するに当って、当地区の現況をご報告しておきたいと存じます。

1. ロータリーの拡大は3クラブで、大阪港R.C.は4月29日付でR.I.への加盟承認を受け、さらに吹田西R.C.も5月6日付で申請書を提出、また、箕面中央R.C.も承認の途中であります。

期末までには89R.C.に拡大される見込みです。(6月12日記)

2. 会員の増強は次のとおりであります。

増加クラブ	61R.C.	増加人数	528人
減少クラブ	17R.C.	減少人数	334人
不変クラブ	8R.C.		
拡大による	3R.C.	純増加人数	74人
合計期末会員数	5,684人		
期初会員数	5,404人		
純増加	280人		
増加率	5.18%		

3. 出席状況(年度を通じ100%の出席をされたR.C.) 橋本、東大阪中、和泉、河内長野、大阪難波、大阪西北、大阪天満橋、大阪梅田、高槻東、和歌山東の10R.C.

4. 3-Hプログラムの状況

6月30日の在日財務代行の年度末締切日までに醸出された状況は、地区内86R.C.(新クラブ不含)より\$32,040,580となっています。The Rotarian 誌の3-H Honor Roll という欄にバナークラブ(\$15/人)と楯クラブ(\$30/人)別にR.C.名が掲載されています。また、6月30日までにガバナー事務所に届いた各協力クラブ数はバナークラブ13R.C.、楯クラブ73R.C.であり、本年度分としての寄付総額は¥13,828,315となっています。

5. ロータリー財団について  
ロータリー財団に関する寄付の年度末数字は8月にR.I.より送付されますが、5月末現在で各クラブより報告のあった年度始めよりの寄付総額は\$290,513,<sup>88</sup>で前年度累計に比し相当下廻っております。一人当たり額も\$53.<sup>82</sup>で前年度\$65,<sup>12</sup>を大きく下廻っています。6月中に準フェロー各位の現況調査を中心に格別のご

配慮をお願いしたいと考えております。少くとも昨年度実績を上廻る、出来れば希望として一人平均\$70以上の線にもっていききたいものと、特にご協力方懇願する次第です。

6月末地区内アンケートの結果は次の通りです。

累計	\$2,078,810. <sup>81</sup>
今年度	\$ 302,938. <sup>87</sup>
@	\$ 56. <sup>12</sup>

6. 米山奨学生について

本年度の普通寄付は19,291,250円、特別寄付は54,123,654円、合計73,414,904円に達し、前年度48,920,433円を33.36%も超える立派な実績数字となりました。

7. 地区分割検討委員会

池田市で行った地区年次大会において、直前G.の伊藤恭一委員長が発言された内容



に従って、今後さらに各クラブの意向を参考に検討を続けることになりました。5月16日開催の諮問委員会で、6月末までに地区分割委員会の各委員から十分意見を確認した上で、委員会としてどんな形態で次年度にも継続するか否かについて検討していくことになりました。

(本件6月16日に委員会開催予定)…6月12日記  
今、私は地区ガバナーの職を退くに当って、ノミニー時代を含めて、3年近くの間の数々の思い出が万華鏡のごとく目の前に次々と浮んで参ります。この間、みなさんとは親しくご交際させていただいて、皆さんから賜りましたご教示、ご好意、ご芳情等々……それに伴う心温まる数々の感動が苦しかった思い出を吹飛ばして、私の心の中にいつまでも久し

く持続け、折にふれ思い出すことでありましょう。この感謝の念を持続け、さらに育みつつ、私のこれからの道を照らす灯火として、大切に参りたいと念じております。

みなさん、今後とも何卒よろしくご指導、ご交誼を賜りますようお願い申し上げますとともに、末筆ながら皆さんの一層のご健康とご活躍をお祈りいたしまして、お別れの感謝のご挨拶といたします。 合 挙



## ロータリー創立75周年祝賀 Chicago大会に出席して

元R.I.理事 原田秀雄 (大阪北)



創立75周年を祝う1980年Chicago大会は「奉仕の灯で道を照らそう」をテーマとして6月1日～5日に亘り、同市湖畔のMcCor-mick Place 内のDon Maxwell Hallで19,000名余の参加者を集めて盛大に挙行され、当地区よりも伊瀬ガバナー始め飯沼G.N.種田G.N.田宮P.G.菅生P.G.並びに原田外多数会員が家族共々出席した。

前夜祭は5月31日夕刻より、有名な異色女優Carol Channingのステージ・ショーにより賑やかに開幕されたが、その頃より突如として祝砲とも花火ともつかぬ大きな音がして雷

が鳴り始めた。この雷の伴奏は大会期間中連日に亘り、時には硝子窓に近よらぬ様との警報が発せられた事もある位で、この大会の印象を特に深めるものであった。

第1日は本会議はなく日曜日のことでもあり前日に引続き Evanston 中央事務局の訪問ツアーが行われ多くの日本人会員がこれに加わった。正午頃よりポール・ハリス・フェローの昼食会が Imbassahy 財団管理委員長司会のもとに約2,300人が参加し、今までに例を見ない盛んな会合が行われた。当日呼びものの開会式は夕刻より会場を埋めた約19,000名の参加者の前に大会委員長 Don Strickland 元副会長の歓迎の辞に始まり、各国旗入場後米国歌の合唱で盛上がった後、Jim Bomar R.I. 会長の簡単な挨拶で終り、一流奏者、歌手による大会余興番組に移ったが、特に印象に強く残ったのは世界的クラリネット奏者 Benny Goodman “Ambassador of Jazz”の演奏で